

内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

A-1 生活支援の基本と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 生活支援の基本		
1	A-1-(1)-① 利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるように工夫している。	b
<コメント> 利用者の「家事をしたい」などの意向に沿って、タオルたたみ・食器洗いを日常的に行い機能維持を図っている。利用者一人ひとりの希望を聞き外食・買い物・花見・ドライブ等をユニットごとに支援している。		
2	A-1-(1)-② 利用者の心身の状況に合わせて自立した生活が営めるよう支援している。	a
<コメント> 利用者一人ひとりの健康状態や身体状況を把握し、生活上の危険性の排除や設備の改善を行い自立に向けた取組を行っている。また利用者に合わせた声掛けをして都度誘導を行った結果、おむつが不要になった例もあり自立に繋がっている。		
3	A-1-(1)-③ 利用者の心身の状況に応じた生活支援(生活相談等)を行っている。	b
<コメント> 地域のコミュニティセンターでの文化祭に利用者の状態に合わせ、見学に出かけている。ユニットごとに利用者との相談や話し合いで外出の計画を作り個人対応で支援を行っている。		
4	A-1-(1)-④ 利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	b
<コメント> 職員は認知症を理解したうえでコミュニケーションの取り方や支援方法についてミーティングで周知と共有を図っている。職員はユニットの特性を活かし身近に接し、会話を通して利用者の思いを聞きコミュニケーションを図っている。		
A-1-(2) 権利擁護		
5	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> 利用者の権利侵害の防止については、法人や内部において職員研修を行っており、安全衛生委員会において調査・報告・検証する体制を整備している。また虐待や権利侵害などがあった場合には、第三者委員を設置して厳正に処分を行う仕組みを整備している。		

A-2 環境の整備

		第三者評価結果
A-2-(1) 利用者の快適性への配慮		
6	A-2-(1)-① 福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。	b
<コメント> 感染症の予防を図るためユニットごとに大型の加湿器を設置し、1日3回湿度の確認を行い利用者の快適性に配慮している。2階の居室や食堂(共有スペース)の窓は雪見障子戸にして、和らいだ落ち着いた環境を整えている。		

A-3 生活支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援		
7	A-3-(1)-① 入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<コメント> 入浴は1対1の対応で行い、マニュアルに沿った入浴介助を行って安全確保に繋げている。血圧・体温等の健康チェックを行い、体調が悪い場合は看護師へ報告し指示を得て日程変更するなど体調管理に努めている。		
8	A-3-(1)-② 排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<コメント> 利用開始時のアセスメントの確認を行ってその方に合わせて対応し、オムツゼロを目指して日中・夜間もトイレでの排泄を大切にしている。また自然排泄を促す為に水分や食物繊維の多い食品を摂取することで下剤の使用も減っている。		

内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

9	A-3-(1)-③	移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<p><コメント> 作業療法士によるリハビリテーション実施計画書が作成され、個別機能訓練を実施している。歩け歩け運動として、作業療法士が付き添い廊下や自分の席から入浴場所まで歩いたり、皆でパブリックスペースで体操を行い、利用者は意欲的に取組み機能維持に繋がっている。</p>			
A-3-(2) 食生活			
10	A-3-(2)-①	食事をおいしく食べられるよう工夫している。	a
<p><コメント> 毎月給食委員会が主催する食事ミーティングに利用者も参加して、献立に意向を反映させている。旬のものや、行事食・毎月の選択メニュー・週2回のユニット炊飯を実施し、ユニットごとの調理レクリエーションではポテトサラダ・あずきかぼちゃなど、おやつ作りではケーキ・たこ焼き・クレープなどを皆で作って美味しく食べられるよう取組んでいる。</p>			
11	A-3-(2)-②	食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	a
<p><コメント> 利用者の身体状況に合わせて、管理栄養士が栄養ケア計画書を作成し食事形態を工夫して、栄養摂取量の観察・記録を行い、多職種連携で情報の共有を図り健康管理に努めている。急な体調変化の場合は、介護・医務・栄養の部門で連携し体制を整えている。</p>			
12	A-3-(2)-③	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	c
<p><コメント> 協力歯科医療機関を定めており、毎食後の歯磨きや、義歯の洗浄など口腔ケアを行い、義歯が合わないなどの場合は通院している。今後は歯科医師による利用者への口腔ケアの助言を受けるなど取組みに期待したい。</p>			
A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア			
13	A-3-(3)-①	褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	a
<p><コメント> 褥瘡予防について看護師・理学療法士からの留意点を学び、皮膚の状態の観察を行い予防に努めている。発生した場合は状態がわかるよう写真にして嘱託医に報告し専門医から指示を受け、また外部講師による研修も実施している。</p>			
A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養			
14	A-3-(4)-①	介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	a
<p><コメント> 利用者の喀痰吸引や経管栄養等の医療的ケアは医師の指示に基づき、家族等の同意を得て研修を受けた有資格の介護職員が実施している。資格を取るために年間2名の職員が研修を受けている。</p>			
A-3-(5) 機能訓練、介護予防			
15	A-3-(5)-①	利用者の心身の状況に合わせて機能訓練や介護予防活動を行っている。	a
<p><コメント> 作業療法士を1名配置し、全利用者対象にリハビリ計画を作り機能訓練や介護予防活動を実施している。利用者それぞれの状態に合わせて、リハビリを行っている。残存機能の維持・向上を目指し、ベッドで過ごしていた方が座位を保てるようになった例もある。</p>			
A-3-(6) 認知症ケア			
16	A-3-(6)-①	認知症の状態に配慮したケアを行っている。	b
<p><コメント> 認知症については外部講師を招いての内部研修や、外部研修に出席した職員はミーティングで報告し共有している。不穏な様子や落ち着かない様子が見られた場合などの対応について学び、多職種連携で支援し、安心して過ごせるよう居場所づくりに努めている。</p>			
A-3-(7) 急変時の対応			
17	A-3-(7)-①	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順を確立し、取組を行っている。	b
<p><コメント> 利用者に体調変化があった場合は、速やかに協力医療機関に連絡を行い必要な措置を取っている。事故発生時は「事故発生時対応マニュアル」により対応している。服薬は介護士・看護師によるチェック体制で誤薬防止を図っている。</p>			

内容評価細目の第三者評価結果 【高齢者福祉サービス版】

A-3-(8)終末期の対応		
18	A-3-(8)-① 利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	a
<コメント> 終末期に関しては看取りの指針、看取り対応マニュアルを整備し多職種連携で実施している。入所時やその後の状態に応じて家族等から意向の確認を行っている。偲びのカンファレンスとして施設長は必ず家庭訪問を行っており、家族等からの感謝の言葉をもらい職員は精神的にも安堵している。		

A-4 家族等との連携

		第三者評価結果
A-4-(1) 家族等との連携		
19	A-4-(1)-① 利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	a
<コメント> 家族等とは日常的に連絡や報告をし、行事やカンファレンス時に要望等を聞く機会を設けている。		

A-5 サービス提供体制

		第三者評価結果
A-5-(1) 安定的・継続的なサービス提供体制		
20	A-5-(1)-① 安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。	評価外
<コメント>		